

令和 2 年度

事業報告書

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

～目 次～

◆ 重点項目の実績	・ ・ ・ ・ ・	P1
◆ 法人運営事業【総務係】	・ ・ ・ ・ ・	P5
◆ 地域福祉事業【地域福祉係】	・ ・ ・ ・ ・	P12
◆ 地域福祉事業【生活支援係】	・ ・ ・ ・ ・	P25
◆ 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】	・ ・ ・ ・ ・	P30
◆ 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】	・ ・ ・ ・ ・	P35
◆ その他	・ ・ ・ ・ ・	P42
◆ 事務機構図	・ ・ ・ ・ ・	P43

令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年度の亀山市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域共生社会の実現に向け、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉活動計画及び年度当初策定しました事業計画に基づき以下の事業を実施いたしました。

<重点項目の実績>

1 組織基盤の強化

〔実績評価及び今後の課題〕

令和 2 年度は、法人の使命・経営理念・組織運営方針に基づき、事業を展開できる職員を育成するため、介護労働安定センターの相談事業を活用し、職員研修計画を含めた人材育成計画を策定しました。今後はこの計画に基づき、各係及び個人の行動目標を明確にするとともに、研修体系を見直すことで職員のキャリア形成を行っていきます。

財政面においては、令和 2 年度の収支状況は昨年度に引き続きプラス収支差額となりました。三役会等で定期的に福祉サービス事業についての経営状況の分析を行っており、事業等の見直しを図ってきたことで近年の収支は安定してきています。今後も継続的に事業ごとの分析、課題改善に向けての検討を行い、安定的な財務運営に努めます。

また、令和 3 年度は法人としての方向性をより明確にするため、人事面や財政面を含めた中長期計画を策定し、法人の組織体制の強化に努めていきます。

2 地域福祉力強化推進事業の充実強化

〔実績評価及び今後の課題〕

4 名（専任 2 名・兼任 2 名）のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が、亀山市が配置する相談支援包括化推進員とともに複合的な課題を抱える世帯等に対し、分野を超えた多機関による支援が行えるよう包括的支援体制の構築を図りました。支援体制の周知・説明を行政、民生委員・児童委員、福祉事業所等、各関係機関に行うとともに、CSW につなぐ「つながるシート」を活用し、小中学校等における福祉課題を抱えた世帯を支援につなぐ「教福連携」をはじめ、各分野の関係機関との連携強化を図り、トータルケアプランを作成し課題解決に向けて取り組みました。新規相談件数 76 件（前年比+21 件）、延べ相談件数 1,498 件（前年比+765 件）となり、潜在していたニーズの顕在化や、伴走的・継続的な支援が必要なため、大幅に増加しています。令和 3 年度は重層的支援体制の整備に向けて市と協議、検討を重ねていきます。

また、地域支援・しくみ作りについて生活支援コーディネーターと連携し、福祉委員会と地域住民に対して、地域でのちょっとした困りごとに対応できるよう「ちょこボラ」を推進しており、令和 2 年度は坂下地区まちづくり協議会に対し、令和 3 年度からの立ち上げに向けての支援を行いました。さらに全市的に住民相互に支え合うしくみを構築できるよう、ちょこボラ養成講座を開催しました。関心を示していただいている地区まちづくり協議会もあり、今後も生活支援コーディネーターとともに継続的なフォローアップに努めるとともに、他の地区でもちょこボラ活動を行っていただけるよう働きかけを行います。

3 地域包括ケアシステムの実現に向けた機能強化

〔実績評価及び今後の課題〕

可能な限り高齢者が住み慣れた地域や自宅で日常生活を送れるよう、地域における「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つのサービスを一体的に提供できるケア体制の構築を目指し実践してきました。

その一端として、地域ケア個別会議を多職種連携のもと丁寧に実施し検討を続けてきました。

また、本会に設置している第1層の生活支援コーディネーター及び在宅介護支援センターに配置している第2層の生活支援コーディネーターが中心となり、市内のまちづくり協議会を単位とした「地域福祉カルテ」を作成し、社会資源やインフォーマルな活動の「見える化」を図り、地域の魅力や課題を共有することができました。

更に、認知症初期集中支援チームの活動をより市民にとって身近なものにするため、チーム名を「カナリアチーム」と命名し周知に努めたことと、認知症の理解を深めるための活動である「認知症サポーター養成講座」をコロナ禍の状況ではありますが、小学校や高等学校を中心に実施しました。

今後については、高齢者人口の増加や問題の複雑化に対応できるよう、鈴鹿亀山地区広域連合において日常生活圏域の再編が行われることとなり、地域包括支援センターが亀山市内に2か所増設されるなか、本会においては基幹型地域包括支援センターとして、地域包括支援センターの後方支援を行うとともに、積極的な地域ケア会議の開催を行い、個々の課題から地域の共通課題を見出し、亀山市の実状に応じた地域包括ケアシステムの推進に努めていきます。

4 ボランティア活動の推進及び災害ボランティアセンターの機能強化

〔実績評価及び今後の課題〕

ボランティア活動を支援するため、ボランティアセンターとして団体及び個人登録者に対し、団体助成、ボランティア活動保険の助成等を行うとともに、ニーズに応じたボランティアコーディネートを行いました。ボランティアセンター登録者数は活動者の高齢化に伴い減少傾向ですが、ボランティアコーディネート数は前年度とほぼ同数でした。今後もニーズに応じたボランティアの養成を行いながら、ちょこボラ等地域の担い手の養成に取り組むとともに、引き続きボランティアセンター登録団体の周知・PRを積極的行っていきます。

また、災害ボランティアセンターとして、設置時に対応できるようスコップや土のう袋等の資機材を整備するとともに、広域的な災害に備え近隣の市町社協との連携について検討しました。

しかし災害ボランティアセンター設置訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度に引き続き中止となりました。今後は新型コロナウイルスの状況下における衛生に配慮した運営について検討も行っていきます。

5 サロン活動の推進

〔実績評価及び今後の課題〕

高齢者対象のふれあい・いきいきサロンは、新規で2か所立ち上がり計94か所、子育て中の親子対象の子育てサロンは、新規で1か所立ち上がり計5か所、地域住民誰もが参加できるコミュニティサロンは、新規で1か所立ち上がり計13か所となりました。昨年度と比較して11か所減の合計112か所でサロン活動が行われました。各サロンに助成を行うとともに、担当者が訪問し、地域の状況や福祉課題の把握に努め、活動の情報発信を行いました。課題としてサロン活動が無い地域も見受けられるため、引き続きすべての地域へ集いの場を創出できるよう働きかけを行っていきます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から5月に活動を休止していただきましたが、感染拡大防止に配慮しながら地域での活動を行えることを目的として『「新しい生活様式」に対応した地域活動の手引き』を市と社会福祉協議会で共同作成し、各サロン団体に配布しました。

6 福祉教育推進事業の充実

〔実績評価及び今後の課題〕

市内の学校（園）に様々な福祉体験学習やボランティア活動、地域のサロンとの交流を通して、福祉に関する関心を高めることを目的に福祉教育推進事業を実施しました。令和元年度から2年間、亀山愛児園、川崎小学校、亀山高等学校の3校（園）をモデル校に指定し、社協と協働で年間のプログラムを作成し、福祉教育の更なる充実と次世代の担い手の育成に取り組みしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から市内福祉施設等の協力のもと毎年実施している中学生福祉体験教室をはじめ、生徒による街頭募金活動などは中止となりましたが、福祉施設の様子を動画編集し、学校で生徒が見て学びを深めたり、園児や小学生が手紙や手作り作品のプレゼントを福祉施設に届けるなどこれまでと違う方法での交流や繋がりが行われました。

令和3年度からは、新たにモデル校（園）を指定し、引き続き福祉教育の推進に努めていきます。

7 成年後見制度の活用促進

〔実績評価及び今後の課題〕

相談窓口として地域包括支援センターに相談員を置き、判断能力の不十分な高齢者、障がい者の方やご家族、支援者からの相談を受け、支援を行いました。延べ対応件数は減少しましたが、新規相談件数は昨年度並みでありニーズの高さが伺えます。

令和2年度は中核機関の受託及び法人後見の実施に向け、市が行う職員研修及び司法書士会、社会福祉士会等の関係機関へのヒアリングに参加しました。令和3年度は先進地視察を行うとともに、引き続き市と協議・検討を重ねていきます。

8 福祉サービス事業の充実

〔実績評価及び今後の課題〕

生活介護事業（つくしの家・なかまの部屋）では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域の小学校や民生委員との交流、外出行事を中止しました。そのため、昨年度より事業所内での活動が中心となりましたが、利用者が日々充実して過ごしてもらえるよう、生産活動や余暇活動の充実を図りました。生産活動では、それぞれの能力に合わせて作業に取り組んでもらうだけでなく、職員が定期的に声掛けを行うことで本人の思いを汲み取り、無理なく作業に取り組めるよう努めました。午後からの余暇活動では、昨年度から取り入れた「スヌーズレン」や「ボッチャ」のほか、ゲームや体操など多様な活動を提供することで、体を動かしながら楽しく過ごしてもらえる環境作りに取り組みました。

また、つくしの家・なかまの部屋のパンフレットや動画を作成し学校や民生委員・児童委員、事業所の見学者等に対してPRを行いました。

訪問介護・居宅介護事業については、障がい者の利用者が介護保険に移行するなどで減少しましたが、介護予防・日常生活支援総合事業の新規利用者を積極的に受けた結果収入が増えました。今後も引き続き地域包括支援センターやケアマネジャーと連携を図り質の高いサービス提供を行っていきます。

収支状況としては、新型コロナウイルスの影響で利用が減ったため、つくしの家はマイナス収支差額となりましたが、訪問介護・居宅介護、なかまの部屋はプラス収支差額となりました。特定・障害児相談支援事業においても、わずかにマイナス収支差額となったものの年間収入は当初予算額を上回りました。しかし、利用状況をみると、特になかまの部屋では近年新規利用者が少なく、今後も安定した収支が見込まれるとは言えない状況にあります。

引き続き関係機関等に積極的にPRを行うなど利用者の確保に向けて取り組んでいくとともに今後の事業運営について協議・検討を行っていきます。

9 亀山市社会福祉法人の連絡会への参画及び支援

〔実績評価及び今後の課題〕

社会福祉法人が相互に連携及び情報共有、地域における公益的な取り組みを推進することを目的に、亀山市社会福祉法人連絡会が設立されました。昨年度から準備委員会を重ね、市内に事業所を持つ社会福祉法人がこれまで培ってきた専門性や人材、各々の地域貢献活動で積み重ねてきた経験を活かし合い、子ども・高齢者・障がい者など、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向け、法人同士が連携・協働しながら地域社会に貢献していく仕組みの構築を目指します。

今後は本会が中心となり事務局機能を担うとともに、他の法人と連携し地域における公益的な取組が円滑に行えるよう努めていきます。

1 法人運営事業【総務係】

1 会務の運営

①理事会（4回）

第1回 令和2年5月7日（木）【書面決議】

議 題

議案第1号 令和2年度共同募金配分金の助成について

議案第2号 第1回評議員会の招集について

第2回 令和2年6月5日（金）【出席者】理事10名、監事2名

議 題

議案第1号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会心配ごと相談所相談員の選任について

議案第2号 令和元年度 事業報告及び決算について

議案第3号 第2回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

第3回 令和2年11月30日（月）【出席者】理事12名、監事2名

議 題

議案第1号 評議員選任候補者の選考及び推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について

議案第2号 評議員選任・解任委員の選任について

議案第3号 令和2年度 資金収支（一次）補正予算について

議案第4号 第3回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

第4回 令和3年3月1日（月）【書面決議】

議 題

議案第1号 評議員選任候補者の選考及び推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について

議案第2号 定款の変更について

議案第3号 亀山介護予防支援事業所運営規程の廃止について

議案第4号 事務局規程の一部改正について

議案第5号 経理規程の一部改正について

議案第6号 正規職員賃金規程の一部改正について

議案第7号 正規職員育児・介護休業規程の一部改正について

議案第8号 日常生活自立支援事業利用料助成規程の一部改正について

議案第9号 令和2年度 資金収支（二次）補正予算について

議案第10号 令和3年度 事業計画及び資金収支予算について

議案第11号 第4回評議員会の招集について

②評議員会（4回）

第1回 令和2年5月13日（水）【書面決議】

議 題

議案第1号 理事の選任について

第2回 令和2年6月24日（水）【出席者】評議員15名

議 題

議案第1号 令和元年度 事業報告及び決算について

第3回 令和2年12月18日（金）【出席者】評議員15名

議 題

議案第1号 令和2年度 資金収支（一次）補正予算について

報告事項 令和2年度中間事業報告（令和2年4月～9月）について

第4回 令和3年3月10日（水）【書面決議】

議 題

議案第1号 定款の変更について

議案第2号 令和2年度 資金収支（二次）補正予算について

議案第3号 令和3年度 事業計画及び資金収支予算について

③評議員選任・解任委員会（2回）

第1回 令和2年12月7日（月）【出席者】選任・解任委員5名

議 題 評議員の選任について

第2回 令和3年3月15日（月）【出席者】選任・解任委員5名

議 題 評議員の選任について

④監事監査（2回）

第1回 令和2年5月25日（月）【出席者】監事2名

議 題 令和元年度 事業報告及び収支決算の監査について

第2回 令和2年10月27日（火）【出席者】監事2名

議 題 令和2年度中間監査について（令和2年4月～9月）

⑤三役会（会長・副会長・常務理事）

第1回 令和2年4月28日（火）

議 題 （1）理事会書面決議提出議案について

（2）令和2年度福祉ボランティア基金助成について

（3）各係の目標について

第2回 令和2年5月27日（水）

議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

第3回 令和2年7月29日（水）

- 議 題 （1）地域福祉力強化推進事業（CSW）の活動実績について
（2）令和2年度福祉サービス事業利用状況について（令和2年4月～6月）

第4回 令和2年9月23日（水）

- 議 題 （1）亀山市社会福祉法人連絡会（仮称）設立に向けての経過報告について
（2）地域包括支援センターの再編について

第5回 令和2年10月28日（水）

- 議 題 （1）令和2年度事業報告について（令和2年4月～9月）

第6回 令和2年11月24日（火）

- 議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

第7回 令和2年12月23日（水）

- 議 題 （1）令和3年度予算概要について

第8回 令和3年2月12日（金）

- 議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について
（2）令和2年度福祉サービス利用状況について

⑥行政監査

市監査委員による監査

財政援助団体等監査（令和元年度分） 令和2年11月17日（火）

⑦第三者委員報告会

利用者等からの苦情に対して社会性や客観性を確保するとともに、利用者等の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置し報告会を行いました。

実施日 令和3年3月25日（木）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 令和2年度苦情受付件数及び対応件数 3件
（うち話し合いへの第三者委員の助言、立ち合い 0件）

2 基盤の強化

①会員制度の啓発及び推進

（単位：名、円）

実施期間	普通会員	特別会員	2年度	元年度	増減額
7月	10,805	3	3,484,605	3,416,820	67,785

②人材育成計画・研修計画の策定

本会が策定している使命・経営理念・組織運営方針や様々な計画を具現化していくため、これに資する職員を育成・定着できるよう人材育成計画・研修計画を策定しました。今後は、この計画に沿って人材育成に努めます。

3 社会福祉大会事業 <市補助事業>

①第 16 回亀山市社会福祉大会

市と共催で、亀山市における社会福祉関係者が一堂に会し、今後の更なる努力を誓い、併せて亀山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝を表するため開催いたしました。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小開催

実施日 令和 2 年 11 月 6 日（金）

場 所 亀山市中央コミュニティセンター

内 容 表彰状・感謝状授与

参加者 約 50 名

4 福祉移送サービス事業 <市委託事業>

「住みよい福祉のまちづくり」を推進することを目的として、歩行困難の方や寝たきり状態の方を対象に、福祉移送サービスを実施いたしました。

（単位：名、回）

	2 年度	元年度	増減
登録者数	51	44	7
延べ運行回数	1,306	1,795	△489

<2 年度内訳>

（単位：円、回）

月	運行費 (年会費含む)	内 容			運行 回数
		リハビリ・診察	透析	その他	
4	78,800	76	77	1	154
5	33,800	46	69	0	115
6	33,400	36	81	1	118
7	38,800	51	81	2	134
8	23,800	44	33	2	79
9	26,000	55	24	3	82
10	34,600	64	35	1	100
11	27,200	58	14	4	76
12	34,600	59	55	1	115
1	24,600	46	48	2	96
2	27,600	43	64	1	108
3	33,200	48	79	2	129
計	416,400	626	660	20	1,306

※その他：病院への入退院、施設への入退所など

5 介護機器貸し出し事業

健康増進と家族の身体的、精神的な負担の軽減を図り、社会参加を促進することを目的として、在宅の寝たきり高齢者及び障がい児（者）などに対して車椅子及び歩行器を貸し出しました。

（単位：件）

	2 年度	元年度	増減
車椅子	169	207	△38
歩行器	1	1	0

6 入れ歯リサイクル事業

入れ歯に使われている金属をリサイクル資源として回収し、収益金を世界中の恵まれない子供たちのために役立てようとする「入れ歯リサイクル事業」を行いました。総合保健福祉センター及び社会福祉センターに回収ボックスを設置し、投入された入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が回収し、益金を日本ユニセフ協会へ納めています。

（単位：円）

	2 年度	元年度	増減
収入金額	59,030	52,682	6,348

7 日本赤十字社との連絡及び協力

①日本赤十字社社資募集

（単位：円）

実施期間	2 年度	元年度	増減額
5 月	4,681,392	4,586,280	95,112

※日本赤十字社三重県支部亀山市地区事務局

8 亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び支援

市内に事業所がある社会福祉法人が参画し、亀山市社会福祉法人連絡会の設立に向けて、昨年度から準備委員会を重ね、社会福祉法人が相互に連携及び情報共有、地域における公益的な取り組みを推進することを目的に開催しました。

①設立総会、準備会、検討会の開催

○設立総会

実施日 令和3年3月2日（火）

場 所 リモート開催

- 議 案
- (1) 亀山市社会福祉法人連絡会 会則について
 - (2) 亀山市社会福祉法人連絡会 役員の選任について
 - (3) 令和3年度事業報告及び予算について

○第2回設立準備会

実施日 令和2年8月26日（水）

場 所 社会福祉センター

議 題 伊賀市社会福祉法人連絡会の取り組みについて

講 師 伊賀市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 平井俊圭

参加団体 14 法人、亀山市（オブザーバー）

○第3回設立準備会

実施日 令和3年1月19日（火）

場 所 リモート開催

議 題 亀山市社会福祉法人連絡会 設立総会に向けて

参加団体 13 法人、亀山市（オブザーバー）

○設立準備検討会

実施日 令和2年9月18日（金）

場 所 総合保健福祉センター

議 題 亀山市社会福祉法人連絡会 事業内容の検討

参加団体 6 法人、亀山市（オブザーバー）

9 実習生の受入

社会福祉士養成課程における相談援助実習について、皇學館大学の学生1名を受け入れました。

実習期間 令和2年9月14日（月）～18日（金）【5日間】

10 福祉団体の事務及び助成

①団体事務局

- (1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
- (2) 亀山市老人クラブ連合会
- (3) 亀山保護司会
- (4) 亀山更生保護女性会
- (5) 亀山市遺族会

②団体助成

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| (1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会（共同募金配分金） | 100,000 円 |
| (2) 亀山市自治会連合会（共同募金配分金） | 0 円 |
| (3) 亀山更生保護女性会（共同募金配分金） | 0 円 |

※（2）（3）については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止により助成金返還

11 「新しい生活様式」に対応した地域活動のてびきの作成

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の方法による集いの場の開催や訪問活動が困難となる中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、地域での活動を行えることを目的として、『「新しい生活様式」に対応した地域活動のてびき』を市と社会福祉協議会が共同作成しました。

【配布先】

地域まちづくり協議会（福祉委員会）	22 地区
民生委員・児童委員	102 名
ボランティアセンター登録団体	47 団体
ふれあい・いきいきサロン団体	94 団体
子育てサロン団体	5 団体
コミュニティサロン団体	13 団体

2 地域福祉事業【地域福祉係】

1 第2次亀山市地域福祉活動計画の推進

地域住民や福祉関係者、行政等と協働して地域福祉活動のコーディネートを行い、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の実現に向けて取り組みました。

①亀山市地域福祉計画推進委員会

地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗管理、評価及び検証を行いました。

実施日：令和2年7月3日（金）

場 所：総合保健福祉センター

内 容：地域福祉計画・地域福祉活動計画に係る進捗状況について

地域福祉力強化推進事業（CSW）の活動実績について

2 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置 <市受託事業>

既存の法制度では支援することが困難な「制度の狭間」の問題（ゴミ屋敷、引きこもり、孤独死など）、多様化・複合化する福祉課題の解決に取り組むとともに、地域で福祉課題を解決する仕組みを構築し、地域における助け合い・支え合い活動を支援するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を設置しました。（専任2名、兼務2名の計4名）

①相談実績

○相談件数

（単位：件）

	個別支援				地域支援	2年度	元年度	増減
	高齢	障がい	母子	その他	地域			
新規相談件数	26	21	2	23	4	76	55	21
延べ相談件数	66	734	35	396	267	1,498	733	765

○相談経緯（新規）

（単位：件）

	本人	民生委員 福祉委員	地域 住民	家族	福祉 機関	医療 機関	行政 機関	教育 機関	その他	2年度
相談件数	11	22	4	3	9	3	16	5	3	76

②地域への周知・関わり・会議への参加

地域での話し合いの場に参加 27回

福祉委員会への参加 11回

地域ケア会議 11回

マイタウン亀山（ZTVにて放映） 1週間（令和2年8月7日～13日）

③多機関協働による包括的支援体制の推進

令和 2 年度より亀山市では複合的な課題を抱える世帯等に対し、分野を超えた多機関による支援が行えるよう、市に配置している相談包括化推進員とコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が連携し、課題解決に向け取り組む包括的支援体制を構築しました。また関係機関等に周知を図りました。

- ・ 支援会議・相談支援包括化サポート会議の開催：12 回（月 1 回開催）
- ・ トータルケアプラン作成件数：28 件（新規 19 件、継続 9 件）
- ・ 終結件数：4 件
- ・ 支援体制の周知・説明

亀山市民生委員児童委員協議会（4 地区）

市内小中高、幼稚園、保育所、認定こども園（16 校、19 園）

亀山警察署、サポートステーションみえ、おしごと広場みえ

障害者地域自立支援協議会相談部会、三重こころの健康センター、

居宅介護支援事業所連絡会、ふれあい教室、青少年総合支援センター、保護司会、

健康福祉部・社会福祉協議会他、内部関係機関

3 小地域ネットワーク活動事業

①地区福祉委員会の設置促進及び活動支援

(地区まちづくり協議会助成事業) <社協会費>

福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役として、全 22 地区 343 名の方に委嘱しました。また、地域特性に応じた福祉活動を展開することを目的に助成事業を行うとともに、地区福祉委員会が行う交流活動や訪問活動、研修会などについてコーディネートを行いました。

・福祉委員の選出 計 343 名 (元年度 346 名)

<地区まちづくり協議会別福祉委員活動状況>

(単位: 名、地区)

No	地区名	委員	小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業 (主な事業)
1	昼生	7	小学生と一人暮らし高齢者訪問、健康体操
2	井田川南	31	ふれあいグランドゴルフ大会、高齢者訪問
3	井田川北	39	高齢者への花プレゼント (訪問活動年 2 回)
4	川崎	29	収穫祭、高齢者訪問
5	野登	16	子ども見守り隊ボランティア、配食訪問
6	白川	10	小学生との一人暮らし、二人暮らし訪問活動、高齢者と小学生の交流 (蕎麦づくり)
7	神辺	15	高齢者訪問、ふれあいキッズカフェ、ふれあい健康体操
8	野村	30	高齢者訪問、いきいきサロン、ぴよぴよサロン
9	城東	6	しろやまサロン、高齢者訪問
10	城西	10	高齢者訪問
11	城北	8	一人暮らし高齢者訪問
12	御幸	9	高齢者訪問
13	本町	6	いきいきサロン「地域の茶の間」、敬老会
14	北東	8	一人暮らし高齢者訪問、自遊ひろば
15	東部	30	高齢者訪問、手作りマスク事業
16	天神・和賀	11	一人暮らし高齢者訪問活動
17	南部	9	高齢者訪問
18	関宿	33	高齢者見守り訪問活動、ゴキブリ団子作り
19	関北部	7	高齢者訪問
20	関南部	11	高齢者訪問、民生委員との情報交換会、ふれあいサロン
21	加太	7	高齢者訪問
22	坂下	11	配食訪問活動、健康フェスティバル、ウォーキング講座
計		343	

②福祉委員研修会

(1) 福祉委員新任研修会

福祉委員活動を行うための実践的な技術と意識の向上を図るために、ワークショップを用いながら、新任の福祉委員を対象に研修会を3回に分けて開催しました。

実施日 令和2年7月17日(金)(同内容を午前・午後・夜間の3回に分けて開催)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講義及びワークショップ

テーマ 『福祉委員の役割を地域の身近な「見守り活動」から考えあってみましょう』

講 師 地域福祉係

参加者 93名

(2) 福祉委員研修会(障がい理解について)

障がいの概念や生活のしづらさ、関わり方を学び、全ての方が住み慣れた地域でお互いに支え合い生活し続けられるよう共生社会の実現に向け研修会を開催しました。

実施日 令和2年11月9日(月)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講義

テーマ 『障がいがある』ってどんなこと?

講 師 市健康福祉部地域福祉課障がい者支援グループ 新海 理恵

障害者総合相談支援センターあい 南川 久美子

参加者 18名

(3) 福祉委員対象認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターと共催で、認知症の正しい理解と日頃の見守り活動に役立てることを目的とし、「認知症サポーター養成講座」を2回開催予定でした。

実施予定日 令和3年2月9日(火)(全2回)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③安心見守り訪問事業 <歳末たすけあい配分金事業>

地区福祉委員会を中心に地域内の75歳以上ひとり暮らし高齢者を対象に見守り訪問活動を行い、不織布マスクを配布しました。

実施地区 22地区

実施期間 令和2年12月～令和3年2月

(単位: 件)

	2年度	元年度	増減
配布数	947	914	33

4 ボランティアセンター事業

①ボランティアセンター登録者（団体及び個人）

<50 音順>

No	団 体 名	活 動 内 容	2 年 度	元 年 度	増 減
1	アモーレかめやま	市内施設・イベント等での演奏活動	15	16	△1
2	あゆみの会	福祉施設ボランティア等	5	10	△5
3	安心を備える女性の会(CEF)	女性の視点の防災・減災ボランティア	9	9	0
4	NPO 法人ぽっかぽかの会	障がい児（者）の就労の場を作るための各種活動	43	42	1
5	オカリナアンサンブル・ラルゴ	オカリナ演奏で高齢者施設へ慰問	3	3	0
6	おはなしの会マミーズ	絵本の読み聞かせボランティア	12	12	0
7	オレンジの会	ボランティア教室やイベント等の調理ボランティア	6	6	0
8	介護アロマ三重サークル亀山	アロマ精油を使って高齢者施設へ慰問	9	9	0
9	かぼちゃの会	高齢者サロン活動ボランティア	12	15	△3
10	かみきりむしの会	市内施設・教育機関等での工作ボランティア	10	13	△3
11	亀の会	ふれあい教室とのボランティア活動等	7	5	2
12	亀山絵本と童話の会	絵本や童話の創作、絵本・折り紙教室等	15	17	△2
13	亀山おもちゃの病院	おもちゃの病院（修理）の開院	14	14	0
14	亀山自助具の会 ピノキオ	高齢者、障がい者、福祉施設のボランティア	11	10	1
15	亀山社中	地域福祉イベントの企画・運営	3	3	0
16	亀山点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	12	13	△1
17	かめやま防災ネットワーク	防災に関する出前講座の実施	16	14	2
18	亀山ボードゲーム会ひっと	ボードゲームを通じた地域交流、イベントの実施	3	3	0
19	亀山民話を語る会	福祉施設・学校等での民話普及活動	12	11	1
20	亀山朗読奉仕会	市広報等の録音テープ作成等	13	14	△1
21	亀山ロマンチカ	施設等でのマジック・バルーンアート等	7	7	0
22	カラオケボランティアローズ	高齢者施設でのカラオケボランティア	4	6	△2
23	きぼうの会	野村きぼう苑での歌と踊りのボランティア	21	21	0
24	義勇者(災害支援グループ)	災害支援活動全般	3	3	0
25	車椅子レクダンス協会亀山支部	車椅子レクダンスの練習、福祉施設訪問	11	10	1
26	クローバーの会	こころのサポートボランティア活動	20	15	5
27	傾聴かめやま	福祉施設での傾聴活動	10	10	0
28	国鉄・JR親睦会	福祉活動、奉仕活動全般	11	11	0
29	心のバリアフリー推進の会	バリアフリー専門調査員育成、マップの作成	12	12	0
30	子育て支援「かめのこ」	ファミリーサポート活動、託児ボランティア	102	102	0
31	災害通信ボランティアネットワーク亀山	災害時アマチュア無線ボランティア	16	17	△1
32	在宅福祉ネットワーク愛里寿	地域ネットワーク活動、施設・イベント等協力	46	43	3
33	しいのみ会	老人施設の草取り、鈴鹿中央病院内活動等	22	23	△1
34	関点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	3	6	△3
35	たすけあいクラブ	生活上の困りごとの支援、保健・福祉の勉強会	14	14	0

36	たんぽぽ	福祉施設ボランティア、こどもボランティア教室等	4	9	△5
37	つくしの家ボランティアサークル	福祉施設ボランティア等	6	6	0
38	椿世ひまわり会	町内イベント等の調理や高齢者宅の草刈り等	16	16	0
39	童謡ボランティア	華旺寿での童謡ボランティア	4	3	1
40	(特非) 亀っ子サポート	生きづらさを持つ青少年に並走型サポート	24	24	0
41	南京玉すだれはり香一座	福祉施設・学校等での南京玉すだれの疲労	5	5	0
42	福祉サポート隊	障がい者の入浴介助、あいあい周辺の環境整備等	7	9	△2
43	プルメリアフレンズ	福祉施設・病院等での音楽イベントの実施	7	7	0
44	文化箏 華音	福祉施設・イベント等での演奏活動	30	31	△1
45	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック ボランティアグループ	在宅療養者の方の食事や買い物等の外出機会を提供する	40	35	5
46	みっくすどろっぷす	障がい児(者)と家族の交流の場、勉強会の開催等	4	4	0
47	民謡 川崎瀧進絵会	福祉施設・イベント等での演奏活動	19	19	0
48	リンパ浮腫ケアと運動療法を楽しむ会	リンパについての講演会等の実施	6	6	0
49	和の会	障がい者の集まる居場所づくり	10		10
	あいあいクラブ	保・幼稚園、高齢者施設での工作づくり活動		21	△21
	こでまり	高齢者・障がい者・福祉施設ボランティア		11	△11
	三重パソコン要約筆記サークル ことのは 亀山支部	要約筆記などに関するボランティア活動や啓発講座の実施		3	△3
	個人ボランティア	災害支援等	5	7	△2
合計			719	755	△36

②ボランティア保険

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備として、ボランティアセンター登録団体及び個人に対し、ボランティア活動保険助成を行うとともに、ボランティア保険の加入促進を図りました。

(単位：件、人)

	活動保険	行事保険	福祉サービス 総合補償	送迎サービス 補償
件 数	42	14	3	1
人 数	1,801	1,270	1,687	50

③ボランティアコーディネート

ボランティアを必要としている方、また活動を始めたい方などに連絡、調整、斡旋などのコーディネートを行いました。

(単位：件)

	2年度	元年度	増減
相談件数	36	33	3

④ボランティアセンター登録ネットワーク会議

ボランティアセンターに登録している団体を対象に、情報提供及び意見交換、相互の交流を目的に実施予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑤ボランティア講座

地域での助け合いや支え合いの活動について知ってもらい、日常生活でのちょっとした困りごとに対応できる「ちょこっとボランティア（ちょこボラ）」の育成及び住民相互に支え合うしくみを構築できることを目的に実施しました。

実施日 令和 2 年 12 月 11 日（金）

場 所 社会福祉センター

テーマ お互いさんのまちづくり～住民同士の支え合い活動「ちょこボラを知ろう ♪」～

講 師 名張地区まちづくり協議会 隠（なばり）おたがいさん 代表 福山 悦子

井田川北まちづくり協議会 井田川北ささえ愛たい 代表 田中 清二

参加者 37 名

⑥ボランティア交流会

ボランティア活動者が意見交換、情報交換を行うことによって、活動の現状や課題について情報を共有し、活動の活性化を図る目的に実施予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑦災害ボランティアセンター

○災害ボランティアセンター設置訓練

亀山市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施予定でした。

実施予定日 令和 3 年 1 月 30 日（土）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○災害ボランティアセンター資機材の整備

県内各市町社協に対し、災害ボランティアセンター運営における資機材に関するアンケート調査を実施し、災害時対応資機材の整備を行いました。

【資機材】スコップ 50 本、土のう袋 10,000 枚、高圧洗浄機 2 台、

手袋（ビニール・皮）各 50 組、ゴーグル 100 個

⑧災害ボランティア支援センター

災害ボランティア支援センターを設置し、ボランティア保険の加入手続き、義援金・支援金の募集などを行いました。台風に伴う警報時発令時に職員を配置し災害ボランティアセンター設置に備えました。

⑨福祉ボランティア基金助成配分事業 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体又は個人が、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に対して助成を行いました。

(単位：団体、円)

	2 年度	元年度	増減
団体数	8	9	△1
助成金額	539,000	473,000	66,000

⑩あいあい祭り 2020 ～であい ふれあい ささえあい～<福祉ボランティア基金事業>

あいあい祭り実行委員会事務局として、祭りの運営、各種許可申請、会場設営などを担当し、多数のボランティアの協力を得て開催予定でした。

実施予定日 令和 2 年 10 月 18 日 (日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○実行委員会事務局の運営

(1) 準備委員会

令和 2 年 6 月 15 日 (月)

- ・前年度事業報告、決算報告について
- ・あいあい祭り 2020 (仮) の実施の可否について

5 福祉教育推進事業

①福祉教育推進助成事業 <共同募金配分金事業>

小中学校及び高等学校における福祉教育について、各学校の総合学習での福祉授業をはじめ、ボランティア紹介などを行い、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施しました。また、学校と更なる連携を図るため、モデル校を指定するとともに、保育所、幼稚園、認定こども園に対しても地域交流等をとおして福祉の心を育んでいけるよう助成事業を行いました。

- ・助成事業：計 1,900,000 円 (@50,000×14 校、18 園 モデル校@100,000×2 校、1 園)
- ・令和 2 年度モデル指定校、園：亀山愛児園、川崎小学校、亀山高等学校

(単位：校、園)

保育所	12	第一愛護、第二愛護、みなみ、神辺、昼生、和田、川崎南、加太、第三愛護、川崎愛児、野登ルンビニ、なのはな
幼稚園	5	亀山、亀山東、井田川、みずほ台、みずきが丘道伯
認定こども園	2	アスレ、亀山愛児 (モデル校)
小学校	11	亀山西、亀山東、亀山南、井田川、野登、川崎 (モデル校)、神辺、昼生、白川、関、加太
中学校	3	亀山、中部、関
高等学校	2	亀山 (モデル校)、徳風

○モデル指定校（園）との関わり

モデル校（園）を指定し、学校（園）と社協が協働で年間を通じてのプログラムを作成し、下記の内容の事業を行いました。

学校（園）名	内 容
亀山愛児園	・手作りコースタープレゼント 市内高齢者施設 17 施設に園児の手作りコースターと手紙をプレゼントし交流を図った。
川崎小学校	・障がい者スポーツ体験（3 年生） 三重県身体障害者総合福祉センターに協力いただき、障がい者スポーツの説明、ボッチャ体験を行った。 ・高齢者疑似体験（4 年生） 車椅子、福祉車両、視覚、聴覚の 4 つの体験ブースを設けて高齢者疑似体験を行った。 ・高齢者施設へインタビュー（4 年生） 社協職員と学校の先生が施設の利用者や職員へインタビューを行い、その動画を見て、施設での過ごし方や接し方などを学んだ。
亀山高等学校	・手作りマスク寄付 高校生の介護実習先の高齢者施設 3 施設に手作りマスクを寄贈した。 ・クリスマスキットプレゼント 今まで訪問し交流を図っていたふれあい・いきいきサロン 3 団体に生徒が作成したキットを届け交流を図った。

○学校からの福祉教育依頼

小学校からの福祉教育依頼を受け、学校と社協が共にプログラムを作成し、ボランティア団体の協力のもと授業を行いました。

実施日	学校名	内 容
11 月 18 日（水）	亀山東小学校（4 年生）	高齢者疑似体験 認知症キッズサポーター養成講座

②夏休み中学生福祉体験教室 ＜市補助事業＞

夏休みの 5 日間、市内の社会福祉施設において、高齢者や障がい者の方々とふれあい・交流を通じて、福祉に対する理解を深めることを目的に開催予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③街頭募金活動

福祉教育の推進及び地域の福祉活動を行う財源確保を目的に、市内の中学・高校生らに街頭募金活動を実施予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

6 サロン活動推進事業

①ふれあい・いきいきサロン・子育てサロン・コミュニティサロン助成事業

＜市補助事業・福祉ボランティア基金事業＞

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

(単位：円、名)

		2年度 箇所数	元年度 箇所数	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	92	89	3	2,596,103	15,869
	新規	2	10	△8	66,000	
	計	94	99	△5	2,662,103	
子育て	既存	4	8	△4	117,000	948
	新規	1	2	△1	30,000	
	計	5	10	△5	147,000	
コミュニティ	既存	12	13	△1	303,000	2,524
	新規	1	1	0	30,000	
	計	13	14	△1	333,000	
合 計		112	123	△11	3,142,103	19,341

②ふれあい・いきいきサロン交流会

市内のふれあい・いきいきサロンを実施している団体間において、情報交換や交流を深めることにより、サロン活動の充実を図ることを目的に開催予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③子育てサロン交流会

小さな子どもを持つ親たちが地域で安心して子育てができるよう、サロン活動を行う上の悩みや解決方法について意見交換を行うとともに、相互の交流を深めることを目的に開催予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

④コミュニティサロン交流会

市内の「コミュニティサロン」を実施している団体間において、交流を深めることによりサロン活動の充実を図ることを目的に開催予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

7 広報啓発事業

①社協だよりの発行（年4回）

社会福祉協議会が行う事業をはじめ、地区福祉委員会やボランティアなどの地域における福祉活動を市民に啓発するため、年4回、市内全世帯に配布いたしました。

第62号 令和2年 7月1日「笑顔でつなぐ思いのカタチ～新型コロナウイルス感染症に立ち向かうさまざまなカタチ～」等

第63号 令和2年 10月1日「令和元年度決算報告・事業報告」等

第64号 令和3年 1月1日「厚生労働大臣表彰受賞 在宅福祉ネットワーク愛里寿」等

第65号 令和3年 4月1日「亀山市社会福祉法人連絡会設立について」等

②ホームページ・フェイスブックの運営

インターネットを利用して最新の情報や各種募集（助成金など）、社会福祉協議会の概要や活動内容について情報発信を行いました。

（単位：回）

更新回数	2年度	元年度	増減
お知らせ・新着情報	44	15	29
フェイスブック	118	209	△91

HP アドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp/>

8 各種福祉事業

①高齢者支援

○団体助成

(1) 亀山市老人クラブ連合会 (共同募金配分金) 430,000 円

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

措置施設入所者（無年金）、契約施設入所者（無年金） 1件 3,000 円

②障がい児（者）支援

○障がい児交流事業 <共同募金配分金事業>

三重県高等学校文化連盟ボランティア部門に加盟する高等学校の生徒と、市内在住の障がいのある児童を対象に、相互の親睦と高校生とのふれあい交流を通して共生社会の実現に向け実施予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○団体助成

(1) 亀山市特別支援教育振興会 (共同募金配分金) 130,000 円

(2) みつくすどろっぷす (共同募金配分金) 80,000 円

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

特別児童扶養手当受給者	83 件	249,000 円
障害児福祉手当受給者	37 件	111,000 円
特別障害者手当受給者	27 件	81,000 円
福祉手当受給者	1 件	3,000 円
合計	148 件	444,000 円

③子育て支援

○入学祝金 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭新入学児童生徒への祝金	5 名	25,000 円
-------------------	-----	----------

○修学旅行補助 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭小中学校修学旅行補助	2 名	20,000 円
------------------	-----	----------

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

準援護家庭	327 件	981,000 円
施設入所児童	6 件	18,000 円

④低所得者支援

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい援護事業>

生活保護世帯	153 件	484,000 円
--------	-------	-----------

○団体助成

(1) 亀山みんなの食堂	(共同募金配分金)	300,000 円
--------------	-----------	-----------

⑤多文化共生への支援

○団体助成

(1) 亀山国際交流の会 (KIFA)	(共同募金配分金)	60,000 円
---------------------	-----------	----------

9 共同募金会との連絡及び協力

①赤い羽根共同募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	2 年度	達成率	元年度	増減額	前年比
10 月～12 月	5,900,400	5,377,498	91.1	5,318,060	△59,438	101.1

②歳末たすけあい募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	2 年度	達成率	元年度	増減額	前年比
10 月～12 月	2,100,000	2,348,515	111.8	2,049,908	298,607	114.5

③亀山市共同募金委員会運営委員会の開催

第 1 回 令和元年 6 月 4 日（木）【出席者】運営委員 8 名、監事 2 名

議 題

- (1) 会長及び副会長の選任について
- (2) 令和元年度事業報告及び収支決算について
- (3) 令和 2 年度（令和 3 年度充当）一般募金配分申請について
- (4) 令和 2 年度歳末たすけあい募金配分申請について

第 2 回 令和 3 年 2 月 26 日（金）【書面決議】

議 題

- (1) 運営委員及び審査委員の辞任に伴う後任の選任について
- (2) 令和 3 年度事業計画及び収支予算について

3 地域福祉事業【生活支援係】

1 総合相談事業 <市補助事業>

①福祉なんでも相談

生活困窮者自立支援事業の相談窓口を活用し、福祉全般の相談を受ける「福祉なんでも相談窓口」を開設して、複合的な福祉課題を抱える相談者に対し、支援会議を通じて適切な相談援助を行いました。

②心配ごと相談（元公証人による相談）

市の法律相談と連携しながら、相続、遺言、金銭貸借、離婚等に関することに対して公証人経験者による適切な助言、指導を行う相談とともに、日常生活上あらゆる心配ごとに応じるため、民生委員・児童委員及び学識経験者による心配ごと相談を毎月第2・第4金曜日に開催しました。

（単位：日、件）

	2年度	元年度	増減
開設日数	23	24	△1
相談件数	86	103	△17

③社協による法律相談

成年後見制度などの権利擁護に関する相談に対し、弁護士による適切な助言、指導を行うことを目的に毎月30日（土日祝の場合は前の平日に繰り上げ開催）に開催しました。

（単位：日、件）

	2年度	元年度	増減
開催日数	12	11	1
相談件数	37	32	5

④心配ごと相談員研修会

地域でさまざまな問題を抱えた世帯のニーズに応えていくために、相談員の専門知識の習得を目的に実施予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑤心配ごと相談所打合せ会議

相談員同士の意見交換や実績報告等を行うため、打合せ会議を開催しました。

	第1回	第2回
実施日	令和2年6月25日（木）	令和2年12月14日（月）
場 所	総合保健福祉センター	総合保健福祉センター
内 容	事業報告、意見交換等	事業報告、意見交換等
参加者	8名	8名

2 日常生活自立支援事業 <県社協受託事業>

認知症高齢者や知的・精神障がいを持つ方々が地域で安心して生活することを目的に、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行いました。

三重県社会福祉協議会から事業を受託し専門員を配置し、行政等関係機関との連携を深め、利用者に寄り添ったサービスの提供を行いました。

○支援回数 (単位：件)

	2 年度	元年度	増減
認知症高齢者	138	133	5
知的障がい者	349	433	△84
精神障がい者	326	349	△23
その他	70	82	△12
計	883	997	△114

○契約者数 (単位：件)

	2 年度	元年度	増減
認知症高齢者	7	7	0
知的障がい者	16	16	0
精神障がい者	12	12	0
その他	2	3	△1
計	37	38	△1

○生活支援員関係 (単位：名、回)

	2 年度	元年度	増減
生活支援員	11	12	△1
派遣回数	690	794	△104

○生活支援員研修会

サービス提供に必要な知識及び技術の向上を図るため生活支援員を対象に実施予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3 生活困窮者自立支援事業 <市委託事業>

社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱えた方への相談支援をはじめ、きめ細やかな支援の体制づくりを行っていくことを目的に、自立相談支援事業と住居確保給付金（必須事業）及び家計改善支援事業（任意事業）を受託しました。また、「福祉なんでも相談窓口」として生活困窮者に限らず複合的な福祉課題を抱えた方からの相談に応じました。専門員 3 名を配置し、相談者の生活課題を把握・整理し課題の解決に向け、相談者の状況に応じた包括的・伴走的な支援を行いました。令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響で困窮状態に陥る相談者が大幅に増加しました。

○相談実績

(単位：件)

	2 年度	元年度	増減
新規相談件数	595	116	479
延べ相談件数	2,488	598	1,890
プラン作成件数	16	18	△2
家計改善支援利用件数	13	16	△3
支援中断	1	0	1
支援終結	5	9	△4
住居確保給付金	58	5	53

○年代別構成

(単位：件)

	2 年度	元年度	増減
10～20 代	84	7	77
30～40 代	291	41	250
50～60 代	164	40	124
70 代～	30	19	11
不明	26	9	17

○区分（重複あり）

(単位：名)

	2 年度	元年度	増減
高齢者	54	31	23
母子家庭	37	9	28
障がい者	21	13	8
外国人	287	11	276
稼働・失業者等	510	61	449
ケガ・疾病等	16	25	△9
ひきこもり	4	6	△2
不明	23	8	15

○支援会議・相談支援包括化サポート会議の開催

相談者に対する支援プランの適切性、進捗状況、終結時の評価等について協議するために開催しました。必要に応じて市役所の関係部局、関係機関にも参加要請を行い連携を図りました。

開催回数：年間 11 回

4 貸付相談及び貸付事業

低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加していることから、従来の生活福祉資金貸付相談をはじめ多重債務相談や住宅支援相談等、より実情に応じた様々な相談に対し、包括的かつ柔軟な対応に努めています。

①生活福祉資金等貸付相談及び貸付業務 ＜県社協受託事業＞

三重県社会福祉協議会が行う低所得者、高齢者、障がい者などに対する生活福祉資金の貸付に関して業務の一部を受託し、経済的自立や生活意欲の助成促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に実施いたしました。

また新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付対象を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等で収入が減少した方を対象に新型コロナ特例貸付を実施いたしました。

(単位：件)

	2 年度	元年度	増減
相談件数	27	42	15
貸付件数	6	7	△1
長期滞納者の面談	1	0	1

貸付残高件数（令和 3 年 3 月 31 日現在）

(単位：件)

	2 年度	元年度	増減
総合支援資金（生活支援費）	15	17	△2
緊急小口資金	28	32	△4
臨時特例つなぎ資金	2	2	0
福祉資金（その他）	10	7	3
合計	55	58	△3

○新型コロナ特例貸付（令和 3 年 3 月 31 日現在）（単位：件）

	2 年度
新型コロナ特例貸付相談件数	1,502
新型コロナ特例貸付申請件数	765
【内訳】 緊急小口資金	353
総合支援資金	275
総合支援資金の延長	71
再貸付	66

②福祉金庫貸付業務

市内の生活困窮者に対して、緊急を要する資金として上限 30,000 円の貸付を行うことにより、円滑な社会生活を送れるようにすることを目的に貸付事業を実施いたしました。

(単位：件、円)

		2 年度	元年度	増減
貸付	件 数	1	1	0
	金 額	30,000	10,000	20,000
償還	件 数	1	8	△7
	金 額	30,000	23,000	7,000

(不納欠損処分：1 件 15,000 円)

貸付残高件数（令和 3 年 3 月 31 日現在）

(単位：件)

	2 年度	元年度	増減
福祉金庫	5	6	△1

5 緊急食糧等提供事業

市内在住の低所得者等が、緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった場合に食糧等の生活に必要な現物等を提供し、自立に向け社会生活が送れるよう支援を行いました。

(単位：件)

	2 年度	元年度	増減
生活困窮者支援緊急食糧提供事業（県社協）	166	58	108
緊急時物品等支援事業（県社協）	27	4	23
亀山市社協災害時等備蓄品	28	45	△17

6 あんしん賃貸支援事業 ＜三重県居住支援連絡会助成事業＞

高齢者、障がい者世帯等の入居を受けられる民間賃貸住宅に関する情報などを提供し、住居の安定確保と安心できる賃貸借関係の構築を目的に居住支援を行いました。

各種会議への参加 三重県居住支援連絡会全体会議 1 回
 三重県居住支援連絡会議作業部会 1 回

4 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】

1 包括的支援事業 <鈴鹿亀山地区広域連合委託事業>

①介護予防ケアマネジメント事業

総合事業（ケアマネジメント費）・委託料

総合事業対象者、要支援（1,2）と認定された方の中で、介護保険日常生活支援総合事業として通所介護、訪問介護を位置付けた利用者の心身の状況や生活を評価し、本人の思いや家族等の意見をふまえたケアプランを作成または外部委託し、介護サービス提供事業者、地域の支援者等との連絡調整を行いました。（単位：件、円）

月	ケアマネジメント費				合 計	
	包括支援センター		外部委託			
	件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金 額
4	36	164,802	137	624,645	173	789,447
5	36	164,802	146	674,442	182	839,244
6	39	178,275	146	661,938	185	840,213
7	38	170,658	145	679,329	183	849,987
8	37	169,293	138	643,005	175	812,298
9	38	170,658	148	689,676	186	860,334
10	38	170,658	148	699,054	186	869,712
11	38	170,658	153	702,753	191	873,411
12	36	161,676	156	725,604	192	887,280
1	35	157,185	153	702,753	188	859,938
2	35	157,185	154	716,622	189	873,807
3	36	161,676	150	686,154	186	847,830
合計	442	1,997,526	1,774	8,205,975	2,216	10,203,501
元年度	528	2,415,058	1,628	7,541,346	2,156	9,956,404
月平均	37	166,461	148	683,831	185	850,292

②総合相談・支援事業

市内 3 か所の在宅介護支援センターとともに、高齢者の生活や認知症などの疾患、介護保険制度、施設入所などに関する相談や悩みのほか、福祉や医療、生きがいなどの相談に応じました。戸別訪問では、外出先や頻度について聞き取りを行い、社会資源の把握に努めました。

（単位：件）

相談機関	2 年度	元年度	増減
亀山地域包括支援センター	1,849	1,716	133
亀山在宅介護支援センター	424	664	△240
亀寿苑在宅介護支援センター	369	372	△3
華旺寿在宅介護支援センター	309	475	△166
合 計	2,951	3,227	△276

③権利擁護事業

(1) 成年後見制度の活用促進

成年後見制度を活用しやすいよう相談、制度説明、申し立て支援を行いました。

○相談件数 (単位：件)

	2 年度	元年度	増減
新規相談件数	34	31	3
延べ対応件数	74	135	△61

(2) 高齢者虐待相談件数

通報、相談を受けた案件について現地状況確認、相談支援を行いました。また、市主催のユアメンバー会議に出席し、昨年度から対応継続している案件も含め協議を行いました。

○相談件数 (単位：件)

	2 年度	元年度	増減
新規相談件数	9	13	△4
延べ対応件数	87	24	63

○虐待相談内容（重複あり） (単位：件)

	2 年度	元年度	増減
身体的虐待	70	17	53
経済的虐待	4	2	2
精神的虐待	35	7	28
性的虐待	0	0	0
介護放棄	15	5	10

④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

(1) ケアマネジメント支援

地域の介護支援専門員が対応に困る事案について、相談、助言、同行支援等を行いました。

相談件数：10 件（元年度：10 件）

(2) 居宅介護支援事業所連絡会の開催

居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員を対象に、情報共有や事例検討会の研修会を開催しました。

(単位：名)

開催日	内 容	参加者数
7 月 16 日（木）	講義「在宅医療の制度と多職種連携について」	39
10 月 16 日（金）	事例検討会「認知症の進行により家族関係が悪化した独居高齢者をどう支えるか」	39
12 月 22 日（火）	講義・グループワーク 「災害時に向けてケアマネジャーができること」	28
3 月 29 日（月）	座談会「介護報酬改定、どう対応する？」	22

(3) 介護サービス事業所研修会の開催

亀山市内の介護サービス事業所職員を対象に研修会を開催しました。

(単位：名)

開催日	内 容	参加者数
8 月 6 日 (木)	講義「高齢者施設における感染症対策について」 (全サービス事業所対象)	20
10 月 23 日 (金)	講義「記録と申し送りの必要性について」 (通所介護事業所対象)	15
12 月 22 日 (火)	講義・実習「手洗いと感染予防」(訪問介護事業所対象)	20
2 月 19 日 (金)	講義「今こそ知ろう！新型コロナウイルス」 (全サービス事業所対象)	58

2 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置 <市受託事業>

第 1 層の生活支援コーディネーターを配置し、第 2 層として配置している 3 か所の在宅介護支援センター職員と協働して、地域での自主的な活動を醸成、また地域資源として紹介できるよう、仕組みづくりに関わりました。

○活動状況

(単位：回)

	回数	活動内容
ふれあい・いきいきサロン訪問	40	地域活動の把握
坂下地区まちづくり協議会 ちょこボラ検討委員会出席	9	住民参加型在宅福祉サービス立上げ支援
ちょこボラに関する説明会の開催	4	住民参加型在宅福祉サービス立上げ支援

○地域福祉カルテの作成

市内にある 22 か所のまちづくり協議会を単位として、人口・世帯・高齢化率のデータをはじめ、地域の社会資源やインフォーマルな活動も含め「見える化」を図った「地域福祉カルテ」を作成し、関係機関・地域住民に対して地域資源情報を分かりやすく提供しました。

【配布先】 地域まちづくり協議会（福祉委員会） 22 部

亀山市 健康福祉部地域福祉課 1 部

健康福祉部長寿健康課 1 部

生活文化部まちづくり協働課 1 部

3 認知症初期集中支援チーム員の配置 <市受託事業>

認知症に関する啓発に力を入れ、寄せられる相談に柔軟に対応できるよう、チーム名を「カナリアチーム」と命名し、介護サービスだけでなく地域の社会資源や他市での活動事例を確認し知識・技術の向上に努め、認知症になっても本人の意思が尊重され、家族などの協力を得ながら在宅での生活を継続できるよう支援体制を構築しました。

○相談件数 (単位：件)

	2 年度	元年度	増減
相談件数	146	120	26
実相談者数	24	12	12
支援対象者数	6	12	△6

- ・認知症関係会議…認知症サポート医、チーム員医師と市担当者とともに課題解決および今後の取り組みについて協議しました。

開催回数：年間 3 回

- ・初期集中支援チーム員会議…チーム員医師と啓発活動や個別ケースの情報共有を行い、具体的な課題抽出と支援策を協議しました。

開催回数：年間 9 回

4 地域ケア会議の実施

①かめやま地域ケア・ネットワーク会議

行政及び各機関の業務内容、役割の相互理解をはじめ、それぞれが抱えている個別ケースの支援内容の検討を行うことで、情報共有・課題解決に繋がるよう月 1 回、会議（地域ケア会議）を開催しました。

開催回数：年間 11 回

②個別ケア会議

地域住民や関係者からの相談を受け、単独の支援者では難しい困難事例への対応について、有効な職種や支援者を招集し開催しました。 (単位：名)

開催日	参加者	関係機関の参加職種
9 月 4 日 (金)	5	訪問介護事業所職員（管理者）、通所介護事業所職員（管理者） 担当介護支援専門員
12 月 22 日 (火)	7	計画相談員、生活困窮者自立支援事業担当者、日常生活自立支援事業専門員、成年後見制度相談員、担当介護支援専門員
12 月 25 日 (金)	8	本人、民生委員・児童委員、計画相談員、介護支援専門員、市障がい者支援担当者、担当介護支援専門員
2 月 8 日 (月)	9	民生委員・児童委員、訪問介護事業所（管理者、担当者）、市高齢者支援担当者、担当介護支援専門員
2 月 11 日 (木)	4	家族、訪問介護事業所担当者、担当介護支援専門員
3 月 23 日 (火)	11	家族、知人、主治医、訪問診療看護師、訪問介護事業所担当者、成年後見制度相談員、担当介護支援専門員

5 認知症サポーターの養成 <市受託事業>

① 認知症サポーター養成講座

認知症に対する偏見を持たないように正しく理解し、家庭や地域において認知症の人や家族に対し出来る事から支援する認知症サポーター養成講座を開催しました。

(単位:名)

開催日	内 容	参加者
11月18日(水)2回	亀山市立亀山東小学校4年生と教員	80
1月26日(火)27日(水)	亀山市シルバー人材センター	22
1月26日(火)29日(金)	亀山高等学校 総合生活科2年	38
	延べ参加者数	140

6 指定介護予防支援事業

① 予防支援費・委託料

要支援(1,2)と認定された方の中で、介護保険サービスとして通所リハビリテーションや訪問看護、訪問リハビリ、福祉用具貸与などを位置付けた利用者の心身の状況や生活进行评估し、本人の思いや家族等の意見をふまえたケアプランを作成または外部委託し、介護サービス提供事業者、地域の支援者等との連絡調整を行いました。

(単位:件、円)

月	予防支援				合 計	
	包括支援センター		外部委託			
	件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金 額
4	59	264,969	255	1,187,208	314	1,452,177
5	62	281,568	268	1,234,848	330	1,516,416
6	59	268,095	272	1,265,316	331	1,533,411
7	62	284,694	273	1,251,051	335	1,535,745
8	62	281,568	272	1,234,056	334	1,515,624
9	60	275,712	275	1,260,033	335	1,535,745
10	60	269,460	277	1,290,897	337	1,560,357
11	61	277,077	277	1,272,141	338	1,549,218
12	59	273,951	283	1,317,843	342	1,591,794
1	58	260,478	281	1,286,979	339	1,547,457
2	56	251,496	276	1,270,776	332	1,522,272
3	56	251,496	283	1,317,843	339	1,569,339
計	714	3,240,564	3,292	15,188,991	4,006	18,429,555
元年度	729	3,324,464	2,897	13,344,424	3,626	16,668,888
月平均	60	270,047	274	1,265,749	334	1,535,796

② その他の収入

介護保険住宅改修理由書作成料: 9件 18,000円 (1件あたり 2,000円)

4 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】

1 訪問介護・居宅介護事業

【訪問介護員（ホームヘルパー）数】（令和3年3月31日現在）

・常勤：2名、登録：12名 <前年度末 常勤：2名、登録：15名>

①介護保険制度

（1）訪問介護事業

要介護認定を申請し、要介護と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	2年度	元年度	増減
利用延べ人数	407	401	6
派遣延べ回数	7,193	7,216	△23
事業収入	22,966,002	23,150,330	△184,328
派遣時間数	4,691	4,640	51

（2）介護予防・日常生活支援総合事業

要支援及び事業対象者と認定された方に、介護予防を目的として調理、洗濯などの日常生活上の支援を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	2年度	元年度	増減
利用延べ人数	272	228	44
派遣延べ回数	1,769	1,341	428
事業収入	5,389,922	4,132,934	1,256,988
派遣時間数	1,549.5	1,213.5	336

②障害者総合支援制度

（1）居宅介護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる居宅介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	2年度	元年度	増減
利用延べ人数	262	295	△33
派遣延べ回数	2,318	2,550	△232
事業収入	7,179,787	7,939,274	△759,487
派遣時間数	1,800.5	2,020	△219.5

(2) 同行援護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた視覚障害の方に外出するための移動支援を行いました。

(単位：名、件、円、時間)

	2 年度	元年度	増減
利用延べ人数	10	0	10
派遣延べ回数	25	0	25
事業収入	148,237	0	148,237
派遣時間数	49	0	49

【令和元年度利用実績なし】

③地域生活支援事業＜市委託事業＞

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に外出するための移動支援を行いますが、令和2年度は利用実績がありませんでした。

(単位：名、件、円、時間)

	2 年度	元年度	増減
利用延べ人数	0	6	△6
派遣延べ回数	0	6	△6
事業収入	0	20,850	△20,850
派遣時間数	0	5	△5

2 生活介護事業 【指定障害福祉サービス生活介護事業所「つくしの家」】

利用者やその家族が希望する生活を大切に、個別支援計画に基づき介護や行事、創作的活動、交流活動、余暇活動等を提供するとともに軽作業等の生産活動も行いました。

①職員配置

(単位：名)

職 名			つくしの家	なかまの部屋
管理者			1	
サービス管理責任者			1	
医師			1	
看護師			1	
生活支援員	常勤	正規	1	0
		嘱託	0	1
		非常勤	4	2
	非常勤（登録）（兼務）		5	1

②利用実績

(1) つくしの家（主たる事業所：定員 25 名）

（単位：名、回、円）

	2 年度	元年度	増減
利用者数	24	25	△1
延べ利用人数	4,100	4,297	△197
送迎利用回数	6,434	6,446	△12
事業収入	29,366,452	30,363,192	△996,740

(2) なかまの部屋（従たる事業所：定員 12 名）

（単位：名、回、円）

	2 年度	元年度	増減
利用者数	9	10	△1
延べ利用人数	1,287	1,577	△290
送迎利用回数	1,263	1,843	△580
事業収入	11,428,225	13,628,464	△2,200,239

③創作的活動（年間行事）

季節に応じた行事等を経験し、見識を広めることで利用者が余暇を楽しむことができるよう支援するとともに、様々な場面や変化に順応できる力を伸ばせるよう支援しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から行事は、縮小・簡素化し取り組みました。

(1) つくしの家（主たる事業所）

実施日	行事名	場所
4 月 3 日（金）	季節の行事（花見）	亀山公園
6 月 3 日（水）	季節の行事（花菖蒲園見学）	亀山公園内花菖蒲園
7 月 7 日（火）	季節の行事（七夕まつり）	つくしの家
8 月 28 日（金）	季節の行事（デリバリーランチ・夏祭り）	つくしの家
10 月 30 日（金）	季節の行事（ハロウィン）	つくしの家
11 月 13 日（金）	ポチャリンピック（ポッチャ）	つくしの家
12 月 24 日（木）	季節の行事（忘スマス会）	つくしの家
12 月 28 日（月）	大掃除	つくしの家
1 月 12 日（火）	成人を祝う会	つくしの家
2 月 3 日（水）	季節の行事（節分）	つくしの家
3 月 3 日（水）	季節の行事（ひな祭り）	つくしの家
3 月 4 日（木）	新規利用者歓迎会	つくしの家

◆余暇活動
なかまの部屋との交流（季節の行事）（年 8 回）
軽スポーツ（ウォーキング・ボッチャ・ボール当てゲーム等）
制作活動（写真パネルづくり・折り紙・アートタイム等）
◆体調チェック
看護師によるバイタルチェック（週 1 回）
健康診断（年 1 回）
歯科検診（年 1 回）
嘱託医師による定期健診（年 2 回）
◆その他
避難訓練（年 3 回、内 2 回は全館避難訓練）

（２）なかまの部屋（従たる事業所）

実施日	行事名	場所
4 月 3 日（金）	季節の行事（花見）	亀山公園
6 月 3 日（水）	季節の行事（花菖蒲園見学）	亀山公園内花菖蒲園
7 月 6 日（月）	季節の行事（七夕茶会）	なかまの部屋
8 月 28 日（金）	季節の行事（デリバリーランチ・夏祭り）	つくしの家
10 月 30 日（金）	季節の行事（ハロウィン）	つくしの家
11 月 13 日（金）	ボチャリンピック（ボッチャ）	つくしの家
12 月 24 日（木）	季節の行事（忘スマス会）	つくしの家
12 月 28 日（月）	大掃除	なかまの部屋
1 月 4 日（月）	初詣	関神社
2 月 3 日（水）	季節の行事（節分）	つくしの家
3 月 3 日（水）	季節の行事（ひな祭り）	つくしの家
3 月 18 日（木）	利用者送別会	なかまの部屋
◆余暇活動		
つくしの家との交流（季節の行事）（年 8 回）		
軽スポーツ（ウォーキング・体操等）		
制作活動（壁面飾り作り・マスクケース作り・書初め等）		
その他（足湯・プチエステ・ゲーム等）		
◆体調チェック		
看護師によるバイタルチェック（週 1 回）		
健康診断（年 1 回）		
歯科検診（年 1 回）		
嘱託医師による定期健診（年 2 回）		
◆その他		
避難訓練（年 2 回）		

④地域交流

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中学生職場体験の受入や、三重大生との交流は中止しましたが、白川小学校の生徒と手紙やメッセージ等の交流や地区民生委員児童委員協議会研修会での事業説明を行い、障がい者への理解を深めてもらえるよう広報啓発に努めました。

(1) つくしの家（主たる事業所）

実施日	行事名	場所
9月18日（金）	西部地区民生委員児童委員研修会	つくしの家

(2) なかまの部屋（従たる事業所）

実施日	行事名	場所
5月21日（木）	関地区民生委員児童委員研修会	関文化交流センター

⑤生産活動

機能訓練の一環として、一人ひとりにあった軽作業を行い、達成感や自信が持てるよう支援しました。

(1) つくしの家（主たる事業所）

委託先	作業内容
(株) アシベ工芸	ろうそく箱詰め
(有) 松川紙工	100円商品の組み立て・梱包
亀山農研	野菜洗い・梱包
長田隆尚後援会	チラシ折り・封入作業

(2) なかまの部屋（従たる事業所）

委託先	作業内容
(株) アシベ工芸	ろうそく箱詰め
(有) 松川紙工	100円商品の組み立て・梱包

⑥利用体験実習の受入

卒業後の進路を考慮し体験できるよう、利用体験実習の受入を行いました。

学校名	学年	性別	期間
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校3年	男	令和2年6月15日～7月3日 令和2年10月12日～10月30日
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校3年	女	令和2年6月15日～7月3日 令和2年10月12日～10月30日
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校2年	男	令和2年7月6日～7月17日
特別支援学校聖母の家学園	高校3年	男	令和2年8月6日～8月7日
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校1年	男	令和3年1月25日～1月29日 令和3年2月15日～2月19日

⑦運営委員会の開催

本事業所の円滑な運営を資するため、福祉サービス内容や事業計画及び運営について協議をしました。

実施日	内 容
2 月 2 日（火）	令和 2 年度事業報告及び現状について 令和 3 年度事業計画（素案）について

3 日中一時支援事業 <市受託事業>

障がい者等の日中における活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び、障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息ができるよう実施しました。主に生活介護の開所時間外の利用や、特別支援学校生徒の利用がありました。

（単位：名、円）

	2 年度	元年度	増減
契約者数	21（うち生徒 3 名）	19（うち生徒 3 名）	2
延べ利用人数	210	286	△76
事業収入	517,750	492,530	25,220

4 特定・障害児相談支援事業

障害福祉サービス等を申請した障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画の作成及び支給決定後の計画の見直しを行いました。

① 特定相談支援

（単位：名、円）

	2 年度	元年度	増減
契約者数	73	69	4
事業収入	2,453,652	2,616,570	△162,918

② 障害児相談支援

（単位：名、円）

	2 年度	元年度	増減
契約者数	19	22	△3
事業収入	661,105	787,163	△126,058

5 社会福祉センターの運営 〈市補助事業〉

【年間利用状況〈3階集会室〉】 (単位：件、名)

	2年度	元年度	増減
利用件数	265	368	△103
利用人数	3,859	6,919	△3,060

【主な工事及び修繕の執行状況】※契約金額 10 万円以上

工事名	契約年月日	完成年月日
昇降機改修工事	令和 2 年 5 月 13 日	令和 2 年 8 月 25 日
消防用設備改修工事	令和 2 年 6 月 9 日	令和 2 年 8 月 24 日
3 階集会室空調機修繕	令和 2 年 7 月 29 日	令和 2 年 9 月 18 日
3 階集会室雨漏り工事	令和 3 年 1 月 21 日	令和 3 年 2 月 10 日

5 その他

①関係機関への協力、参加

(単位：回)

委 員 会 名	実 施 主 体	回数/年	出席者
亀山市地域福祉推進委員会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市高齢者福祉推進協議会	健康福祉部 長寿健康課	3	会長 中川
亀山市高齢者福祉計画策定調整会議	健康福祉部 長寿健康課	1	局長
亀山市地域自立支援協議会	健康福祉部 地域福祉課	3	会長 中川
亀山市要保護児童等・DV 対策地域協議会	健康福祉部 子ども未来課	1	会長
亀山市高齢者・障がい者虐待防止対策代表者会議	健康福祉部 長寿健康課	1	局長
亀山市民生委員推薦委員会	健康福祉部 地域福祉課	2	会長
亀山市国民保護協議会	防災安全課	1	会長
亀山市防災会議	防災安全課	1	会長
亀山市水防協議会	防災安全課	1	会長
三重とこわか国体・三重とこわか大会 亀山市実行委員会・専門委員会	三重とこわか国体・三重とこわか大会 亀山市実行委員会	3	会長 局長
亀山市共同募金運営委員会	亀山市共同募金委員会	2	会長 局長
介護認定審査会	鈴鹿亀山地区広域連合	13	出口
介護保険運営委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	3	局長
介護保険事業計画策定部会	鈴鹿亀山地区広域連合	5	局長
市民活動応援制度審査検証委員会	生活文化部 まちづくり協働課	2	鍬田

②各種団体等への事業説明・意見交換会

(1) 亀山市議会教育民生委員会との意見交換会

当会の事業概要や意見交換の場として、市議会教育民生委員会と意見交換会を行いました。

実施日 令和2年10月19日(月)

場 所 市役所 第1委員会室

内 容 社会福祉協議会との意見交換会

出席者 会長他職員3名

(2) 亀山ライオンズクラブへの事業説明

当会の事業について、亀山ライオンズクラブへの事業説明を行いました。

実施日 令和3年2月16日(火)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 社会福祉協議会の事業説明

出席者 事務局長他職員2名

社会福祉法人亀山市社会福祉協議会 組織・事務機構図

